

和のまち

第4回カフェトークたいし
「シチズンシップ共育(主権者教育)を考える」

カ

フェ

ト

ー

ク

た

い

し

創ろう、太子町の未来

- 02 カフェトークたいし
- 05 1月臨時会、3月定例会
- 06 令和8年度注目事業
- 12 一般質問



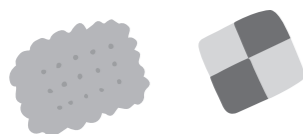
第4回 「カフェトークたいし」

「シチズンシップ共育を考える」

2月7日(土) 開催

住民と議員がリラックスした雰囲気の中で意見交換する「カフェトークたいし」も、これが4回目の開催となります。今回は10代と20代の方に来ていただき、シチズンシップをテーマに語り合いました。

どうしても遠く感じる政治や議会。なぜなのか、どうすればいいのか、5つに分かれたテーブルでは活発な意見交換が続きました。各ラウンドで出された主な意見をご紹介します。



カフェにいるような自由な雰囲気の中で、ラウンドごとに席を入れ替え、いろいろな人と会話することができます。



第1ラウンド

太子町の政治（議会）に関心はありますか。 (あるならその理由、ないならその理由)



「関心がある」という意見が多く聞かれました。「納税する社会人になると政治が自分事になる」、「住民の生活や幸せに直結する」、「自分の住む町だから」、などの声がありました。一方、「関心がない」理由としては、「制度や仕組みが分からない」、「学校で教えられていない」、「難しいイメージがある」、など。「選挙をしても人が変わらない」、との意見も。

第2ラウンド

どうすれば、町民は太子町の政治や議会に関心を持ちますか？

何より議会を、議員を「知ってもらう」こと。そのためには住民との接点を増やし、特に議員個人を「身近に感じてもらう」。活動に関する「情報発信は分かりやすく」、SNSを含めた「多様な媒体を活用」することも重要、などの指摘がありました。また、「学校教育の中で取り組む」ことにより若い頃から政治に関心を持たせるべきとの意見も出されました。



第3ラウンド

町民が太子町議会議員に立候補してくれるには、どうすればいい？

「ハードルを下げる」ことが必要で、議員が説明会をしたり、「どんな仕事をしているのか」、その「やりがいを知ってもらう」。他にも、「変えたいと思う意欲」、「自分が出る」、「太子町への愛」、「議員と町民がフレンドリーになる」、など様々な意見が交わされました。また、「配偶者の理解を得る」ことや、「今の仕事と両立できるのか、報酬を増やさないとやりたい人は増えない」、といった指摘もあり、これはまさに今、議会改革として取り組んでいる課題です。

参加者の声

(終了後のアンケート・インタビューから抜粋しました)

議会の活性化と若者の政治参加を望む。

政治について調べていこうと思った。

近隣市町と協力して盛り上げよう。

SNSをやるべきだと思う。

若い人がたくさんいて驚いた。政治には興味があり動画などをよく見ている。今回はいろんな考えを聞けて新鮮でした。次回も参加したい。

参加して楽しかった。(まだ選挙権がなく)選挙に行っていないのでよく分からなかったけど、今日来てみて興味がわきました。

太子町を良くしようとする人がいて、すごく楽しかった。

幅広い人と話ができる貴重な機会。

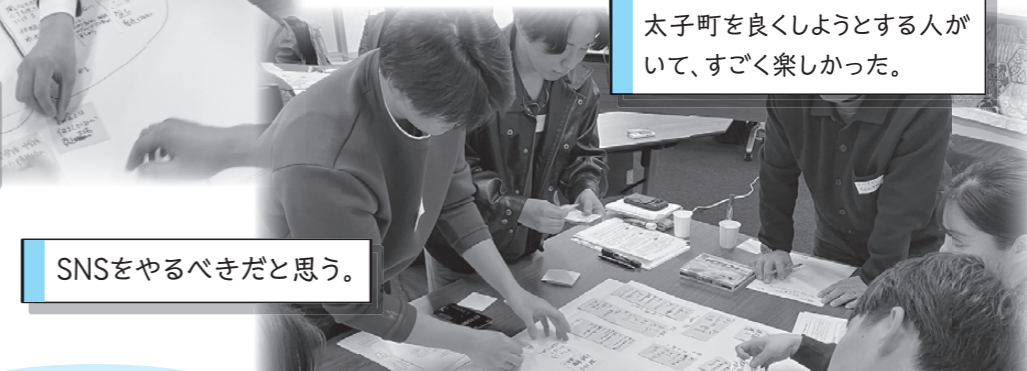
もっと開催してほしい。

地方自治は民主主義の学校ともいわれ、その根幹である町議会は主権者教育を担う責務があります。住民自治の活性化は町全体を明るく元気にし、将来の豊かな発展につなげることができます。太子町議会と個々の議員は、「住民と共創する議会」の一層の充実を目指し、これからも皆さんと共に考え歩んでいきます。

私たち第19期太子町議会議員の任期もあと1年となりました。来年の春には次期の議会議員が選出されます。この度の若い方たちの意見も取り入れながら、議会への関心を大いに喚起したいと思います。そして、多くの方が太子町議会に参画されることを私たちは期待しています。

シチズンシップ共育とは？

「シチズンシップ教育」や「主権者教育」という言葉には、国や地域、社会の問題を自分事として捉え、主体的に参画し行動できる素養や能力を育むという意味があります。太子町議会では、「教える」のではなく一緒に育てていきたいとの思いから、あえて「共育」としました。



主な審議結果を解説

3月
定例会

3月定例会は、2月20日から3月24日までの33日間の会期で開催されました。諮問1件、承認1件、補正予算8件、契約2件、その他2件、条例10件、当初予算7件の合計31件の議案が審議され、全て原案の通り可決されました。また、初日には沖汐町長より施政方針（町政運営に係る基本的な方針と新年度における施策の概要）が示されました。



ピックアップ

📄 新年度の予算審議

詳細はp6~9へGo!

📄 防災行政無線関係機器の購入

詳細はp7へGo!

人権擁護委員の推薦

やまもとじじょう
山本慈乗氏（平方）を人権擁護委員に推薦することに決定しました。任期は令和8年10月1日から令和11年9月30日までの3年間。

暮らしの中にある条例

●議案第18号 太子町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定

こども誰でも通園制度が始まります

こども誰でも通園制度

全ての子どもの育ちを応援し、子どもの良質な成育環境を整備するとともに、全ての子育て家庭に対して、多様な働き方やライフスタイルにかかわらず形で支援することを目的として、「こども誰でも通園制度」が始まります。

2026年度から子ども・子育て支援法に基づく新たな給付として、全国の自治体において実施されます。

【対象となるこども】

0歳6か月～満3歳未満

【利用時間】

こども1人につき月10時間まで

【利用料金】

こども1人あたり1時間300円

【実施施設】

太子町立斑鳩保育所



太子町こども誰でも通園制度の案内ページ

※その他の制度詳細や申請方法などについては、こどもえがお課へお問い合わせください。

1月
臨時会

1月16日に臨時会が開催されました。補正予算2件が審議され、全て原案の通り可決されました。物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金が国から交付されたことに伴い、太子町独自の物価高騰対策を実施するための施策が示され、審議しました。

ピックアップ

📄 生活応援商品券配布事業 詳細はp6へGo!

📄 物価高対応子育て応援手当支給事業 令和8年3月末までに実施済み

📄 水道料金の基本料金を減免 詳細はp6へGo!

主権者教育、大学生が提言



太子町議会初の試みとして、大学生から政策提言を受ける発表会を開催しました（2月7日）。提言を行ったのは関東学院大学法学部の4年生15名。太子町議会が議会改革のアドバイザーとして業務を委託している^{まきせみのる}牧瀬稔教授のゼミで学ばれてきた学生さんたちです。

ゼミ生の皆さんは3つのチームに分かれ、「実効性のある主権者教育を太子町議会が実施するには？」をテーマに数か月間に及び調査・研究を実施。この日の発表では、独自に考案した「まちづくりシミュレーションゲーム」やICT機器を活用した模擬選挙、教育現場への「出前講座」、未成年者を対象としたカフェトークや「子ども議会」など、主に小中学生に向けた主権者教育についてユニークな政策が多数紹介されました。

発表会には沖汐町長も同席され、私たち議員と一緒に聴講されました。



◀太子町議会が取り組んできたカフェトークや議場自習室、中学生議会などの活動を組み合わせ、議会を身近に感じてもらう政策を提案するチーム「議会、好きになりました」の皆さん。



和のまちをつくる太子町議会基本条例では、外部機関との連携による議会活動の活性化を掲げています（第11条第4項）。今回の取組みはその新たな一歩であるとともに、学生の皆さんの柔軟な発想と斬新なアイデアを今後の議会活動に活かしていきたいと思えます。同条例第11条第6項に規定した主権者教育の継続的な推進に向けて、実り多い政策提言発表会となりました。

▲牧瀬稔先生（前列右から3人目）、発表されたゼミ生の皆さんと記念撮影。地方行政が専門の牧瀬先生には令和6年度よりお世話になっています。特にカフェトークでは、テーブルホスト役のゼミ生の皆さんとともに、毎回太子町に来ていただきました。

施設

小中学校体育館 空調整備事業 3億6,770万円

小中学校の体育館における児童・生徒の安全な活動や災害時の避難所利用時における熱中症対策のため、令和8年度中に空調設備を設置します。



地方交付税措置70%の緊急防災・減災事業債を活用した事業です。スピード感をもって整備を行うため、設計施工一括方式で実施します。



防災

防災行政無線更新事業 6,070万円



町内に設置された屋外スピーカ

防災行政無線の庁舎内機器の更新に併せ、災害時における住民への多重的な情報発信により、迅速かつ確実な情報伝達体制を強化するため、「LINE」と連携した配信機能を実装します。



避難指示等の情報を多重的に得られるように「LINE」登録をお願いします。



児童福祉

学童保育運営民間委託事業 1億6,500万円

学童保育の現場に専門知識や技能を投入し、学童保育事業の安定化を図るため、町内の公立学童保育園の運営業務を民間事業者へ委託します。



住民生活を守り、育む 令和8年度予算委員会審査



一般会計予算

160億1,261万円 前年度比2.1%減

3月9日から11日までの3日間、令和8年度一般会計予算の審査を行いました。これまでは特別委員会の7名の委員により審査を行ってききましたが、議会改革を進めるなか、今回は議長を除く全議員による審査を試行しました。（議長はオブザーバーとして参加）

注目事業



物価高対策

生活応援商品券配布事業

2億6,170万円

物価高対策として、町内店舗で使用可能な商品券（券面額7,000円）を全町民に配布します。（使用期間4月27日～7月末まで）

町内の消費を喚起し、生活支援と地域活性化を図るための事業です。



水道料金減免事業

8,310万円

令和8年2月および3月検針分の水道基本料金減免に引き続き、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用して令和8年4月から7月検針分の水道基本料金を減免します。

福祉

重層的支援体制整備（地域づくり）事業 360万円

複雑化する支援ニーズに対応するため、関係機関との連携強化により世代や属性を問わない包括的相談や地域づくり、参加支援に取り組む「重層的支援体制整備事業」の一環として、孤独・孤立予防のための居場所「つながりBASE」の創設に向けた助成やネットワーク（見守りつながるネットたいし）づくりを進めます。

介護予防事業 1,600万円

高齢者の身体機能の維持・向上のため、「いきいき百歳体操」の活動支援を社会福祉協議会への委託により実施し、リハビリ専門職等による継続支援や体力測定を実施します。また、ゲームスポーツを介護予防教室に取り入れ、幅広い世代への普及啓発を図ります。



企業会計 ※企業会計とは...地方公営企業法の適用を受けて独立採算を行う会計をいいます。

区分	予算額	対前年度伸率
水道事業	収益的収入	6億2,261万円 △2.2%
	収益的支出	5億8,762万円 3.8%
	資本的収入	2億3,130万円 △25.9%
	資本的支出	4億1,510万円 △13.3%
下水道事業	収益的収入	14億575万円 △0.1%
	収益的支出	13億1,300万円 1.0%
	資本的収入	5億5,816万円 △3.3%
	資本的支出	11億2,676万円 3.3%

特別会計 ※特別会計とは...特定の事業の歳入歳出を一般の歳入歳出と区別して別に処理するための会計をいいます。

会計名	予算額	対前年度伸率
国民健康保険特別会計	34億8,016万円	6.4%
介護保険特別会計	29億1,725万円	3.2%
後期高齢者医療特別会計	7億853万円	9.5%
墓園事業特別会計	1,270万円	5.1%



予防医療

子宮頸がん検診クーポン事業 170万円

検診無料クーポン券について、これまで対象外であった 35・40・45・50 歳の方を新たに対象者として拡大します。これにより受診促進および受診の習慣化を図ります。

骨粗しょう症検診事業 20万円

骨粗しょう症を伴う骨折により要介護状態になることを防ぎ、高齢者の自立した生活の維持を支援するため、リスクの高い方を対象に医療機関での個別検診を実施します。

病気になってからの治療ではなく病気を未然に防ぐ予防医療が目まぐるしく注目されています。本町においては上記以外にも各種検診やワクチン接種の助成等、予防医療の推進に取り組んでいます。



母子衛生

産婦健康審査費助成事業 230万円

産後うつ予防や新生児への虐待予防等を図るため、産後間もない時期の産婦に対する健康審査費用の一部又は全部を助成します。



妊婦健康診査事業 2,590万円

安心して出産を迎えることができるよう、医療機関受診の際に使用できる助成券を交付し、保険適用外となる妊婦健康診査費用の一部又は全部を助成します。令和8年度より上限額を増額します。

p7からのつづき

子育て支援

こども医療費助成事業 (高校生通院費助成) 2,380万円

高校1年生から3年生までの世代を対象に、所得制限を設けない通院費助成を令和8年7月から実施します。これにより0歳から高校生世代までを対象とした医療費の完全無償化が実現します。

小中学校給食費無償化事業 1億6,110万円

物価高騰に直面する保護者の経済的負担の軽減を図るとともに、児童・生徒に栄養バランスや質・量を保った給食の提供を保障するため、学校給食費完全無償化を実施します。



いちじくをいただいています



教育

地域に根ざした 学校活性化推進事業 600万円

龍田小学校において、令和9年度の小規模特認校指定に向け、小規模校ならではの強みを活かした特色ある教育を推進するとともに、他校区からの児童受入れを試行的に令和8年度より実施します。



龍田小学校

部活動地域展開推進事業 1,440万円

生徒の持続可能なスポーツ・文化芸術活動を支援するため、町が認定した団体に対して活動に必要な費用を補助します。また、部活動支援員配置を拡充し、生徒の活動機会の確保を図ります。



太子町バドミントン部地域クラブ

小規模特認校とは、小規模校を中心に特色ある教育を展開して、校区外からでも入学を許可することのできる学校のことです。



少子化が進んでいることで、中学校での部活動のあり方が変わっていきます。

賛成 賛成 松浦崇志議員
本案は沖汐町政1期目の総仕上げ予算である。18歳までのこども医療費や小中学校給食費の完全無償化など公約を実現し、体育館空調や施設改修など歴代町長が先送りしてきた懸案を着実に解決する姿勢を大いに評価する。

賛成 賛成 中敷清志議員
私も訴え続けてきた小中学校の給食費無償化、高校生世代への医療費無償化拡大や、雇用や産業を作る可能性のある沖代・米田地区の土地利用基本計画策定業務委託など、未来や次世代への投資を実行する予算である。

反対 反対 玉田晶久議員
小中学校の給食費無償化や高校生世代の通院費無償化などに象徴されるように、子どもに対する施策は進めているが、実質切り下げの年金生活者を始めとする高齢者の施策に乏しい。高齢者にも光を当てた施策展開が必要。

令和8年度一般会計予算

3月定例会最終日、採決にあたり、次の内容で討論がありました。

ザ・討論

令和8年度太子町水道事業会計予算

反対 反対 玉田晶久議員
昨年7月から平均で36%にも及ぶ水道料金値上げの一方で、全体供給量の約15%で高額な県水を購入しており、無駄遣いとなっている。有収率を向上させる努力とともに、県水の購入を止める努力を求めらる。

賛成

賛成 玉田正典議員
検針がやりづらい所でも実施可能なメーターの導入や衛星通信を介して調査する漏水探知機、技術職の補充が厳しいなかAを活用してサポートしているなど、先進的な技術を積極的に導入し、業務の効率化を図っていく姿勢を評価する。

賛成



定例会最終日(討論含む)

あの日 あの時 あの質問
どうなった 以前の

あの答弁

以前の定例会での一般質問が、その後どのように反映されたかを追跡！

216号 令和7年10月27日発行より

質疑

RSウイルスワクチン接種費用の助成についての見解は

国、近隣市町の動向等、情報収集しつつ助成については検討していきたい

答弁

その後

令和8年度新規事業として、「RSウイルス母子免疫ワクチン予防接種事業」が始まります。2歳までにほぼ全ての乳幼児が感染し、初回感染時には重症化しやすいといわれているRSウイルス感染症について、新生児の感染や重症化の予防のため、妊婦への母子免疫ワクチン接種が実施されます。



ようこそ、太子町議会へ

～議会を視察に来られました～

太子町議会の取り組みに対し、全国の議会から視察の申し込みが続いています。

1月21日 鹿児島県町村議会議長会
議会基本条例に基づく議会改革、議員報酬の適正化、議会BCP策定など

1月28日 大分県玖珠町議会
議会改革特別委員会
カフェトークについて（運営方法、効果、課題など）

広報広聴委員会レポート 1月13日
議会広報研究会に出席

神戸市産業振興センターにて研修を受けてきました。内容は、議会広報紙の役割や住民に読まれ伝わる議会だよりとなるためのポイントです。

研修では、各町の議会だよりについて、議会報評価の目安・基準にそって講評が行われました。

できるだけ見出しを活用してはどうかといったコメントをいただきました。



今後の議会だよりの作成に活かしていきます！

令和8年1月 臨時会議決結果

全員賛成で可決した議案等

議案名	議案名
令和7年度補正予算	令和7年度一般会計補正予算（第7号） 令和7年度水道事業会計補正予算（第5号）

令和8年3月 定例会議決結果

全員賛成で可決・承認した議案等

総務…総務経済建設常任委員会に付託された案件
福祉…福祉文教常任委員会に付託された案件
予算…一般会計予算委員会に付託された案件

議案名	議案名	
諮問	人権擁護委員の推せんにつき意見を求めること	
承認	専決処分したものにつき承認を求めること（令和7年度一般会計補正予算（第8号））	
令和7年度補正予算	令和7年度一般会計補正予算（第9号）	
	令和7年度国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	
	令和7年度介護保険特別会計補正予算（第4号）	
	令和7年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）	
	令和7年度墓園事業特別会計補正予算（第2号）	
令和7年度補正予算	令和7年度水道事業会計補正予算（第6号）	
	令和7年度下水道事業会計補正予算（第4号）	
令和8年度当初予算	令和8年度墓園事業特別会計予算	福祉
令和8年度補正予算	令和8年度一般会計補正予算（第1号）	
契約	備品購入契約の締結（防災行政無線関係機器）	
	工事請負変更契約の締結（太子町総合公園陸上競技場4種公認更新工事(その1)）	
その他	農村交流センターの指定管理者の指定	
	町道路線の認定	総務
条例	太子町議会議員及び太子町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例（一部改正）	総務
	太子町報酬及び費用弁償に関する条例（一部改正）	福祉
	一般職の職員の給与に関する条例（一部改正）	総務
	太子町福祉医療費助成条例（一部改正）	福祉
	太子町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例（一部改正）	福祉
	太子町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定	福祉
	太子町消防団員等公務災害補償条例（一部改正）	福祉
	太子町下水道条例（一部改正）	総務

賛否の分かれた議案等

議案賛成者は「○」、反対者は「×」とします。議長は「-」、議長に表決権はありません。

議案名	賛成	反対	結果	議員別賛否一覧												付託		
				吉田智子	山本順久	玉田昂久	桑名幸夫	松浦崇志	出原賢治	森田哲夫	玉田正典	中数清志	藤澤元之介	清原良典	中島貞次		堀卓史	首藤佳隆
令和8年度一般会計予算	12	1	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	予算
令和8年度国民健康保険特別会計予算	12	1	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	福祉
令和8年度介護保険特別会計予算	12	1	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	福祉
令和8年度後期高齢者医療特別会計予算	12	1	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	福祉
令和8年度水道事業会計予算	12	1	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	総務
令和8年度下水道事業会計予算	12	1	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	総務
太子町国民健康保険条例（一部改正）	12	1	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	福祉
太子町介護保険条例（一部改正）	12	1	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	福祉



高齢者、1人にさせない取り組みを

なかしま ていじ
中島 貞次 議員



問 誰も気づかれないうちに自宅で死亡した高齢者の孤独死はどれくらいあったのか。

答 令和に入って7件あった。既往症の悪化による病死がほとんどで、原因不明の場合は心不全と診断されている。溺死、転倒による死亡例はなかった。

問 不幸にして孤独死が見つかった場合の対処方法は。

答 発見者が町や救急隊、警察等に連絡をし、救急隊が生死の確認を行う。警察が事件性の有無を判断し、事件性がなければ親族に遺体を引き継ぐ。もし、親族がいなかったり引き取りを拒否される場合は、本町で火葬を執り行う。その後、相続の対象となる方に遺骨や遺品の引き取りを依頼する。

問 高齢化社会が進む中で、孤独死を防ぐ対策はどうなっているのか。

答 孤独死は、健康問題や人と人とのつながりの希薄化、社会的孤立や経済的困窮などの要因があるが、表面化することなく進行し、次第に深刻な状況になる。その対策として、地域や関係機関などによる課題の早期発見と体制作りとして、令和8年度からの重層的支援体制整備事業を行う。



持続可能な農業活動の推進を!

くわな ゆきお
桑名 幸夫 議員



問 太子町の農地の現状、今後の見通しは。

答 農業者の高齢化や担い手不足、相続等により、耕作放棄地や遊休農地の増加が予想されている。

問 「農地を借りる制度をもっと早く知っていたら、もっと早く農業を始めていたのに」という定年帰農者の話を耳にしたが。

答 そういった世代の方に向けても農地貸出制度をしっかりとPRしていきたい。

問 農業を基礎から学ぶ「太子ふれあい農業塾」の現状と今後の展開方針は。

答 講師の確保が出来ず休止しているが、内容を見直し再開に向け努めていきたい。

問 多面的機能支払交付金の活用状況は。

答 交付金を活用して農家と地域住民が協力した草刈り・水路掃除、農業体験イベントによる住民同士の交流促進等、地域の特性を生かした持続可能な農業活動の推進に努めていきたい。



農地パトロール（農業委員会）



上太田公園の利活用促進を

たまだ あきひさ
玉田 晶久 議員



問 当公園北側にある水源涵養保安林は、モトクロスバイクの練習場になっており、公園の駐車場を発着地点として利用されているが、その対応は。

答 保安林は森林法により車両の走行が禁止されている。駐車場からモトクロスバイクが通行できないような対策を講じる。

問 公園から桜山貯水池を巡るハイキングなどをPRし、町内外の住民が自然と親しめる機会を創出してはどうか。

答 自然環境を広く周知するために、ケーブルテレビやSNS、広報紙やホームページを活用した情報発信を強化する。

問 榎岩城を訪れた人たちにも紹介してはどうか。

答 榎岩城の御城印を取りに来られる訪問者に、当公園のパンフレットを渡したり、榎岩城観光ガイドの方々にも公園の魅力を紹介し、訪問者への案内を充実させることも有効である。



龍田地区が望める展望台



部活動地域展開の現状は

やまもと よりひさ
山本 順久 議員



問 中学校を対象とする部活動の地域展開が全国的に進められており、本町も令和8年9月から土日の部活動が地域展開される。太子町教育委員会においては、これを踏まえて中学生のスポーツ、文化活動の指導に関わっていただける指導者や地域クラブの募集をしてきた。現状は。

答 指導者人材バンクへは現在13名の登録があり、種目はバスケットボール、ソフトボール、バドミントン、バレーボール、吹奏楽となっている。地域クラブには、8クラブの登録があり、バドミントン、バレーボール女子、バスケットボール、剣道、合唱、バトントワリング、卓球の種目を地域クラブとして認定している。

太子町立中学校
部活動の地域移行をふまえたスポーツ・文化活動の人材バンク登録者 募集!

太子町教育委員会では、全国的に進められている「部活動の地域移行」をふまえ、中学生の部活動や部活動の地域移行後のスポーツ・文化活動の指導に関わっていただける指導者の人材バンクへの登録を募集します。

主な活動内容	勤務条件等
部活動指導員の場合 ・部活動の技術指導 ・大会への引率、審判 ・活動計画の立案等 (学校の顧問と連携) 部活動地域移行後、 地域クラブ指導員の場合 ・部活動指導員に準ずることを基本に今後検討予定	部活動指導員の場合 ・町会計年度任用職員 ・町規程の報酬 ・活動時間は平日1日2時間以内、休日1日3時間以内 (ただし、大会や練習試合等の引率等の場合は、この限りではない。) ・年間合計215時間程度(令和5年度実績) ・任用期間は任用開始日からその年度末まで 地域クラブ指導員の場合 ・国や県の動向により今後決定

人材バンク登録チラシの一部

問 各部活動について土日の体制を整理した表を作成し、生徒と保護者へ分かりやすい情報提供をしてはどうか。

答 4月になり現在の部活動の顧問を決定していく中で、外部指導者についても明らかになっていく。また今後、合同部活動にする可能性も含めて、表のようなものを生徒や保護者に示すことについては、検討していきたい。

福祉文教常任委員会レポート

1月7日～3月3日

総務経済建設常任委員会レポート

1月8日～3月4日

2/5 課題調査 「観光行政のあり方」 調査・研究

緩やかに定住人口の減少が進む太子町において、賑わいの創出や経済活性化を推進するため、交流人口の増加を目指して「観光行政のあり方」を検討することとしました。

今回は観光協会の運営主体が、商工会の場合、行政の場合、それ以外の第三者機関の場合の三通りの違いによる長所、短所について整理しました。

今後は、既存の特産物や斑鳩寺、宮本武蔵等に加えて、それ以外の新たな物や人への焦点の当て方を探ります。また、新たな観光資源の発掘、観光活性化の施策等の調査研究を進めていきます。



2/4 GIGAスクール構想の検証と今後の展望について

ICT機器を活用した教育現場を行政視察しました。

◆GIGAスクール構想とは

2019年に開始された全国の児童、生徒一人に一台のコンピュータと高速ネットワークを整備する文部科学省の取り組みです。

ICT機器を活用し、多様な子どもたちに「個別最適化された学び」と「協働的な学び」を平等に提供すると共に情報活用能力の育成や、創造性を養うことを目指しています。

◆町内の小学校を視察

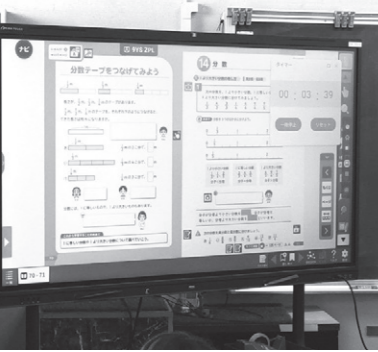
令和7年11月12日に斑鳩小学校において音楽（2年生）と算数（3年生）を、令和8年2月4日には石海小学校の、ICT機器を活用した授業を視察しました。



今回は、石海小学校における視察をレポートします。

算数（4年生）

児童が各自で今日の目標やコースの難易度を選択し、学習計画をタブレット端末に書き込む。先生から黒板と電子黒板を上手く併用



共有画面に表示

した分数の説明、その後、学習アプリを起動して、各自の学習プランに沿って問題を解いていくという内容。

国語（6年生）

授業内容は、文章を読んで登場人物の人物像を考えること。そして登場人物の関係図を作ること。

まず、児童各自が考える登場人物の人物像をタブレット端末で入力する。その内容は共有画面に表示され、クラスメイトの意見も参考にしながら考えることができ

る。関係図については、「どの人物を中心に置くべきか」など先生からアドバイスを受けながら、タブレット端末の画面上に線を引いたり、人物の配置を移動するなど各自で熱心に取り組んでいました。

◆視察を終えて

ICT機器の導入により、学習スタイルが大きく変化しているように感じました。

先生は黒板と電子黒板を上手く併用して解説し、児童もタブレット端末の操作に慣れていて、タイピングのスピードもかなり速かったです。

今は、このようなICT機器の習熟が必須の時代。子どもたちには、義務教育の間につかりとICTの基本的な技術を身に付けてもらいたいです。また書くことも大事であるため、デジタルと手書きのバランスについては、教育現場において適切な判断が求められると思います。



商工会との意見交換会

1月19日、太子町商工会主催による議会との意見交換会が開催されました。

人口減少や少子高齢化によって地域経済を取り巻く環境が厳しさを増す中、事業者の現状と課題を共有し、持続可能なまちづくりに向けた施策を探ることを目的としています。

「地域振興」から「稼ぐ力」へ

町の出生数が年間199人（2024年）まで落ち込むなど人口減少が進む中、商工会からは単なるイベント等の実施から、お金の流れや仕事づくりを活発にする経済施策へ注力する方針が示されました。具体的には、事業者に寄り添う伴走型支援、次世代の育成と事業承継、DX（デジタル化）の推進などに力を入れていくとのこと。

太子町観光協会のあり方

現在、観光協会の運営は商工会職員が他の業務と並行して担っており、人力的・財政的な負担が大きく、本来の業務推進が困難な状況にあります。また、町行政との役割の区別が不明確な課題もあることから、商工会より町への事務局移管の要望が出されました。移管が実現すれば、商工会は本来の中小企業支援に集中でき、観光事業は行政主導で安定した運営が可能になるとのメリットが示されました。



議会としても、町内事業者の切実な現状と商工会の方向性を深く理解する貴重な場となりました。今後も相互連携を深め、地域経済の活性化に向けて取り組んでいきます。

太子町! あれこれピックアップ♪

ふるさと親善大使

落語家 ^{かつら ぶん が} 桂文我さん

「太子町ふるさと親善大使」に就任していただいた落語家の桂文我さん。

桂文我さんは、平成8年より町内で定期的に落語会を開催されており、今では58回を数えました。

また、親子寄席も数年前より開催されています。



落語会などを通して全国各地で太子町をPRしていきます

撮影 ^{みどうよしのり} 御堂義兼

4月4日、春うらかな土曜日のお昼すぎ、東京代々木能舞台で桂文我さんの落語会が開催されました。今回の落語会は、桂文我さんが「太子町ふるさと親善大使」に就任されたことで、ぜひ太子町の素晴らしさを知っていただきたいとの思いから「太子町を深堀り」と題して太子町の魅力を語りあう特番でした。

演目は兵庫、太子にちなんだ「そうめん喰い」や「兵庫船」など。また、桂 ^{かつらよねへい} 米平さんによる宮本武蔵をお題にした「立体紙芝居／巖流島の決戦」も。



特別座談会の様子

^{おきしおもりひこ} 沖汐守彦町長・^{よしだまさゆき} 商工会役員吉田正之さん・桂文我さんによる特別座談会も開催されました。太子町の歴史に触れながら、聖徳太子、宮本武蔵、^{ぼうじいし} 勝示石、太子町の名水や特産品などが、3人の掛け合いの中で紹介され、終始笑いに包まれた楽しいひとときとなりました。

町内での桂文我さんの落語会

今年4月26日と11月3日に斑鳩寺にて開催(有料)

親子寄席は11月に龍田小学校にて在校生を対象に開催されます

あなたの「声」をお聴かせください

議会だよりを読んだ感想などを議会事務局までお寄せください。分かりやすく親しみやすい紙面づくりを心がけていきます。

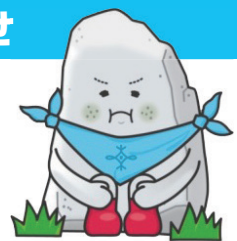
編集		広報広聴委員会	
委員	副委員長	委員長	委員
山本 順久	玉田 晶久	松浦 崇志	堀 卓史
		出原 賢治	吉田 智子

議会傍聴にお越しください

6月定例会のお知らせ

6月 3日(水)	提案説明
6月 4日(木)	一般質問
6月 5日(金)	一般質問
6月 8日(月)	議案質疑
6月19日(金)	討論・採決

※都合により変更になる場合があります。



太子町
マスコットキャラクター
ぼうじい

編集後記

4月9日、小中学校の入学式に出席しました。一人は、志ひとつでなりたいものになれる。失敗を恐れず、挑戦しよう。新入生へ贈る先生のエールが琴線に触れ、前向きな気持ちで令和8年度がスタート。さて、今号では、議会と若者が共に取り組んだ主催者教育企画(p2-4)を特集しています。私たちも挑戦する姿勢を忘れず、残り任期1年を全力投球してまいります。さあ新生活!皆さま、体も心も大切に、健やかに過ごしてください! (松浦崇志記)

